

公立大学法人大阪 理事長との対談



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2022年4月に大阪公立大学が誕生しました。
2025年には森之宮キャンパスが大阪城東部地区に開設される予定です。
設置法人(公立大学法人大阪)の西澤良記理事長にお話を伺いました。

理事長と区長の仕事について

大東区長 お久しぶりです。大学の統合は大変だったと思います。今回は大阪公立大学について伺います。

西澤理事長 お久しぶりです。大阪公立大学は、大阪府立大学と大阪市立大学の統合により誕生しました。風土や制度はすべて違うので、調整はまだ続いています。

大東区長 理事長の役割は具体的にどのようなものでしょうか。

西澤理事長 理事長は普通の会社でいうと、ホールディング会社の社長に当たります。公立大学法人大阪は、大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学、大阪公立大学工業高等専門学校および大阪公立大学医学部附属病院の管理運営を行っています。学長は教育研究方針や学部・大学院を統括し、予算編成、財務運営、教員・事務系の人事に関することは私の役割ですね。理事長は学長・理事・校長・病院長の任命および法人経営にとって重要事項を諮る役員会や経営員議会の議長を担います。

大東区長 多岐にわたりますね。

西澤理事長 2019年に理事長に就任し、140年以上の歴史を持つ府立大学と市立大学の統合をメインでやってきました。この4月に統合がきちんと成立して、動き出したところですね。区長のお仕事はどのようなものでしょうか。

大東区長 基本的には区民の方々へのいろいろなサービスです。次に、さまざまな地域の困りごとへの対応です。

西澤理事長 生活に密着して色々な問題があるのでしょうかね。

大東区長 そうですね。あとは今やっていることを、広報という形で区民の皆さんに知ってもらうことは大事だと思っています。この3つは大切な仕事だと考えています。

西澤理事長 大変な仕事ですね。

大東区長 城東区政は、地域の皆さんのおかげで区長の仕事が回っていますから、しっかりと地歩を固めて行かなくてはと思っています。

多様な分野と人材を育成する総合大学

大東区長 どのような大学をめざしているのでしょうか。

西澤理事長 新大学は高度研究型大学として、今後のグローバル化に向かう大阪の「知的拠点」の役割を担いたいと考えています。両大学が統合されることにより、将来の飛躍に向けた、より大きな舞台ができたと考えています。1学域11学部15研究科のフルラインナップの総合大学として多様な分野と人材を有することができ、より幅広いシナジー効果が期待できると考えています。

多様性を重視し、学問領域の壁、異なった言語や国籍、性別などを超えた新たな社会に向かつての人材養成をめざしたいと思っています。

新たな機能として、「都市シンクタンク機能」、「技術イノベーション機能」を明確化し、行政とタイアップして取組体制の構築に力を入れ、公立大学の任務も果たしたいと考えています。

「知の森」をコンセプトに地域密着型の産学官連携をめざして

大東区長 森之宮キャンパスに関して、Osaka Metroから新駅のイメージパースが発表されました。

2025年に開設予定の森之宮キャンパスにかける思いはどのようなものでしょうか。

西澤理事長 森之宮地区というのは、もともと文化があります。大阪城もあり、観光、学術、それから交流機能があって、良好な交通アクセスが加わることで、大阪の東西都市軸となる東部の重要拠点となるでしょう。

コンセプトを「知の森」とし、数千人の教職員、学生が集うメインキャンパスを造ることで、地域住民・企業との連携・コミュニケーションを促すとともに、府市の関係者はもちろん、他大学の学生や若い人たちが集まり、人と人との交わりが倍増されることで、新たな発想やイノベーションが生み出される、そんな「次世代キャンパスシティ」をめざします。

地域交流のさらなる発展

大東区長 すでに地域との交流も始めておられます。中浜地域の防災、森之宮地域のスマートエイジングシティ、今福地域のナレッジラボなどをはじめ、今後さらなる交流を進めていきたいのですが、いかがでしょうか。森之宮地域のスマートエイジングシティに関しては、森之宮病院、UR都市機構と区役所の三者で連携協定を結んでいたのですが、先日、公立大学も入っていただき四者での連携協定を結びました。

西澤理事長 城東区の皆さまとともに、さまざまな分野で交流して、多くの人に参加していただき、地域の発展のためにも歩んでいけないかと考えています。区とも取組みを発展させ大阪の発展と一緒に牽引できればと願っております。

大東区長 地域の皆さんがとても期待を寄せているところであり、大変ありがたいお話です。



左から大東区長と西澤理事長

区民の皆さんとともに歩む大学

大東区長 最後に、区民の方にもメッセージをいただけないでしょうか。

西澤理事長 最初に、不発弾処理の関係でご迷惑をおかけし、お詫びを申し上げます。このために整備が若干遅れることとなりますが、2025年半ばには森之宮新キャンパスを開設する予定です。将来に向かつて若い人たちが集い、新しいパワーを発散させて、城東区の皆さまと一緒にこれからの未来のまち「次世代キャンパスシティ」を創っていきたく願っております。

新しいまち創りにご支援とご理解をいただき、区民の皆さまと一緒に未来に羽ばたきたいと願っております。皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。

大東区長 ありがとうございます。さらに連携を深めていきたいと思えます。

略歴

公立大学法人大阪 理事長 にし ざわ よし き 西澤 良記

大阪市立大学医学部卒業(1970)、同大学院医学研究科内科系専攻内科学2課程修了(医学博士)および米国カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校医学部内分泌部(1975)、その後、大阪市立大学助手(1979)、同講師(1986)、同助教授(1989)、同教授(1999)、同大学院教授(2000)、同医学部附属病院副院長(2002)、同大学院医学研究科長、医学部長(2006)、米国トーマスジェファーソン大学客員教授(2007)、大阪市立大学理事長兼学長(2010)を経て2019年より公立大学法人大阪理事長(現職)。

※西澤理事長と大東区長の対談は、新型コロナウイルス感染症対策をして実施しました。



大学の構想を語る西澤理事長